

## ベナン月例報告（2013年9月）

### 1. 内政

- ・ 5日、バコ・アリファリ（M.Nassirou BAKO-ARIFARI）外務・アフリカ統合・仏語圏・在外ベナン人大臣は、当地外交・領事団及び国際機関関係者を招致の上、同国外政及び内政全般につき報告を行った。特に、憲法改正につき、同外相は、ヤイ大統領には三選の意思がない旨、及び憲法改正はベナンのガバナンス改善のために必要不可欠である旨説明した。
- ・ 6日、約2年間続いた内紛のため遅々として進まなかったベナン商工会議所評議員選挙が22日に実施されることが閣議において決定した。同選挙により99人の商工会議所評議員が選出される。また、選挙キャンペーンが11日から20日に実施されることが決定した。しかし、20日、商工会議所評議員選挙につき、一部の経済実業家が選挙方法に問題があるとして、最高裁判所に抗議し、かかる抗議を受け、最高裁判所は選挙を中止する旨決定した。
- ・ 13日、従来から存在する司法分野の組合、ベナン司法官全国同盟（UNAMAB:Union National des Magistrats du Bénin）に加えて、新たにベナン司法官組合（AMAB:Association des Magistrats du Bénin）が結成された。反政権の色が濃いUNAMABと比較し、AMABは、主として政権によって任命される共和国検察官によって構成されているため、政権寄りの姿勢を示していると伝えられる。
- ・ 18日、パリ高等裁判所は、タロン（M.Patrice TALON）氏及びボコ（M.Olivier BOKO）氏の身柄引渡審判につき、十分な審議を経ていないとして、かかる審判の期限を10月23日まで延期する旨発表した。
- ・ 24日、国民議会法務・行政・人権委員会は、憲法改正法案を検討した結果、同法案に最高裁判所の意見（avis motive）が付されておらず、手続き上の瑕疵があるとして、同法案を却下した。かかる最高裁判所の意見については、「大統領提出の憲法改正法案には、最高裁判所の意見は必要ない」旨の9月12日付憲法裁判所決定が出ているが、同委員会はこの決定を承知していなかった由。かかる委員会の決定を受け、憲法裁判所は、24日即日、国民議会に同決定を送付した。

### 2. 外政

- ・ 9日、ガーナのマハマ（M.John Dramani MAHAMA）大統領がベナンを訪問し、ヤイ大統領と共にマリア・グレタ（Maria-Gléta）火力発電所等を視察した。ガーナの発電能力は、現在のところ、年間2,500メガワットであり、また、400メガワット規模の発電所を新たに建設している。マハマ大統領は、2016年には、5千メガワットの発電を目指しており、ベナンを含む近隣諸国への輸出も促進したい旨述べた。

- ・ 12日及び13日、AU 税関局長会議がコトヌで開催され、御厨邦雄世界税関機構（WCO）事務局長がベナンを訪問した。同会議では、アフリカ大陸自由貿易地域圏創設に向け、意見交換が行われた。全貿易額に占める域内貿易の割合は、ヨーロッパが72%、アジアが52%であるのに対し、アフリカでは11%に過ぎない。
- ・ 20日、トーゴのニシャンベ（M.Faure GNASSINGBE）大統領がベナンを訪問し、ヤイ大統領と会談した。同大統領は、アジャララ（Adjarrala）ダム式水力発電所建設計画の実現に向け、両国が一層協力していく旨、また、10月にダカールで行われる ECOWAS 首脳会議の-margin で、エネルギー問題に関する UEMOA 首脳会合を開催する旨合意した。

### 3. 経済

- ・ 3日、ベルギーのエンジニアリング企業トラクトベル（Tractebel Engineering）のボードルモン（M.Nicolas Vaudremont）副社長がベナンを訪問し、ヤイ大統領と会談した。同氏は、ケトゥ（Kétou）水力発電所建設を含む複数のエネルギー計画への参加に前向きな意向を示した。
- ・ 12日、ヤイ大統領は、コトヌで開催されたベナン・インド経済会合に出席した。同会合では、インドによる対ベナン投資機会について意見交換が行われた。
- ・ 29日、ヤイ大統領は、コトヌ東岸の海岸線浸食防止を目的とするシアファト（Siafato）堤防の建設工事を視察した。同建設工事を請け負うオランダの海洋土木企業、ロイヤル・ボスカリス・ウェストミンスター（Royal Boskalis Westminster N.V）社は、建設予定の8基の堤防のうち、6基はすでに工事が完了しているが、残りの2基は、同建設予定地に難破船が漂流しており、工事を阻害している旨説明した。同工事は、2014年8月に完了する予定である。
- ・ 30日、ヤイ大統領は、コトヌ国際会議場（Palais de Congrès）横で建設が予定されている高級4つ星ホテルの建設予定地を、同工事を請負うセネガルの大手建設会社代表ソウ（M.Yérime Sow）氏とともに視察した。同ホテルは客室140室、大会議場等を併設した高級ホテルであり、総工費は1千億 FCFA に上る。同ホテルの建設工事は、2012年1月に開始予定であったが、未だ開始できておらず、ヤイ大統領は速やかな工事開始を同代表に要請した。当初は、2014年11月に工事完了予定であった。

### 4. 開発・協力

- ・ 5日、国際熱帯木材機関（ITTO）による「ベナンにおける国家森林統計情報管理システム構築」プロジェクトの活動開始セレモニーが実施され、塚原駐ベナン大使及びエドゥ（M.Raphaël EDOU）気候変動対策・植林・天然資源保護担当環境大臣が出席した。同プロジェクトは、日本等の拠出により実施される。

- ・ 10日、クウェートがベナンに対し食糧援助を実施し、800トンの米及び750トンのモロコシの引渡式が、駐ベナン・クウェート大使、及びアブドゥ（M.Irenée Bio ABOUDOU）食料安全保障支援公団（ONASA:Office National d'Appui à la Sécurité Alimentaire）総裁出席の下、実施された。同国は、2008年の食料危機時にもベナンに対して、3,150トンのコメの食料援助を実施した。
- ・ 11日、ヤイ大統領は、UNDPの支援で建設されたポルト・ノヴォ（Porte-Novo）のビジネス促進センターの開所式に出席した。
- ・ 11日、農村総合開発ソングイセンターの新支部が、UNDPの10億FCFAに上る支援によりザニャナド（Zagnanado）に建設され、ヤイ大統領が開所式に出席した。
- ・ 17日、ヤイ大統領は、ベナン・エネルギー計画（Projet Facilité Energie）の進捗が遅滞していることを受け、カサ（M.Barthélémy Dahoga KASSA）エネルギー・石油鉱山探査・水利・再生可能エネルギー開発大臣、及び同計画にかかる工事請負建設業者を招致し、速やかに工事を完了するよう指示した。同計画は、2009年に始まり、105の村落を電化するというもの。
- ・ 19日、EUがギニア湾海賊対策会議をコトヌにおいて開催し、アフリカ及びヨーロッパ諸国の専門家が、海賊対策について議論した。
- ・ 20日、クウェートが農業生産者に対するマイクロファイナンスを支援する目的で10億FCFAに上る財政支援を行った。
- ・ 26日、ヤイ大統領は、ケトゥ（Ketou）の水力発電ダムの建設を請負うトルコの建設企業 Herguner bilgen ozeke 社の代表者と会談した。

## 5. 治安

- ・ 24日、電化製品や家畜の強盗容疑で、3人のベナン人がズー（ZOU）県で逮捕された。